

今、いまを大切に未来につなぐ imaima・との意見交換会で寄せられた意見について（令和5年12月協議）

（テーマ）

・学校給食・食の安全について

No	今、いまを大切に未来につなぐ imaima・からの 主な意見	常任委員会での協議内容
1	<p>トキを放鳥できるような環境をつくらうとする 県の取組を考えたら、ジオパークの世界認定を受け た白山市が環境保全としての有機栽培や有機給食 を勧めないのはおかしいと思う。市が農業、教育、 市民生活に対してオーガニックで行くというグラ ンドデザインを掲げて（総合計画に入れて）、それぞ れの分野が具体的なプランを立てていってはどう か。</p>	<p>①本市の学校給食は地元産食材を多く 使用することを心がけています。特にお 米については、通常の学校給食では二等 米のところを、地元産コシヒカリ一等米 を使用しています。有機給食への具体的 なプランについては、関係機関と協力し ながら、できるところから取り組んでい きたいと考えています。</p> <p>②国が「みどりの食料システム」戦略を 策定し、その中で化学肥料や化学農薬の 使用量の削減や有機農業の取組面積の拡 大などを目標に掲げています。これを受 け、県では令和5年3月に本市をはじめ 県内全市町と共同で「石川県環境負荷低 減事業活動の促進に関する基本方針」を 策定し、環境保全型農業を推進していま す。具体的なプランについては、総合計画 の関連計画である総合戦略に数値目標を 掲げ、環境保全型農業の取組面積の拡大 を図っています。</p>
2	<p>オーガニック認証の食材を使用するのはハード ルが高い。オーガニック性の高い食材でもよしとな るよう、市独自の認証基準を設けることができない か。</p>	<p>JAS法に基づく有機JAS認証のほか、化学肥料及び化学合成農薬の使用を 5割削減して作られる県の特別栽培農産 物認証、さらには3割削減したエコ認証 （現みどり認定）の制度がある中で、市独 自の認証制度については、先進地の事例 や現制度の課題、JAや農業者などの御 意見を聞きながら、調査・研究したいと考 えています。</p>